

# IPH#600

## 断面修復、欠損部補修用無収縮ポリマーセメントモルタル

- 特殊ポリマー系軽量厚付けモルタルでありながら強度が安定しています。
- 欠損断面の厚さ変化に影響されない性能を発揮します。
- 厚付け材でありながら骨材粒度が小さい為、表面の平滑な仕上がりになります。(繊維補強材混入型)
- コテの締め付けがきき、安定したコテさばきができます。
- 振動躯体への塗り付けに付着力が良好です。
- 下地への吸着性に優れ、プライマーを必要としない特徴があります。



### 用途

- コンクリート構造物の欠損断面の充填材として機能します。
- コンクリートコア抜き取り後の充填に適しています。
- IPH#300防錆ペースト後の充填に安定度を高めます。
- 欠損断面の高低差がある場合に適しています。
- 可動部の小断面、大断面共、塗り付けに適しています。
- 塗り厚の変化に影響が小さく安定した密封力が得られます。

### 組成

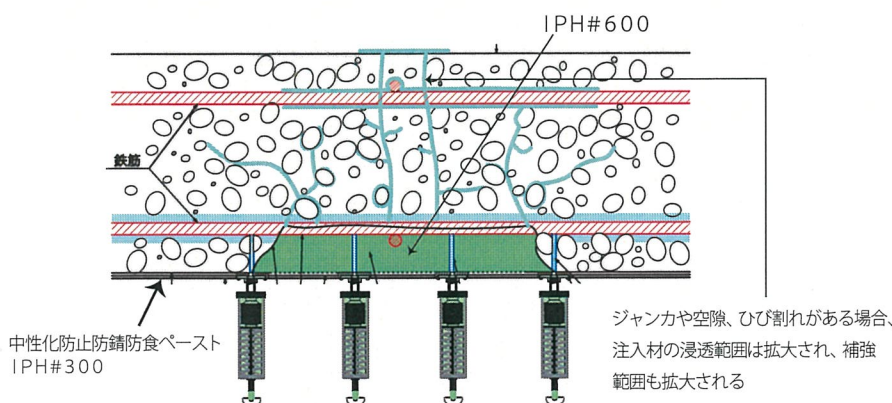
内 容		重 量 (%)
主 材	無機質結合材	44.2
	骨材	54.1
	添加剤	1.7
	計	100.0
混和液	カチオン系アクリル樹脂エマルジョン	100.0
	計	100.0

### 使用方法

- 主材 20kg(紛体)と混和液 2kg、清水 2.5～3.5kgの範囲で混合します。
- 攪拌機等で十分に練り上げられたら金ゴテにより塗り付けます。
- 可使時間は60分以内(20℃)です。

### 施工パターン図

#### IPH内圧充填接合補強工法によるコンクリート床板部補強例



#### 非破壊によるコンクリート補強対策

IPH内圧充填接合補強工法はジャンカ内部(50～100mmの穿孔)から注入充填をスタートさせる為、表面の疎外要因、遊離石灰、油脂、汚れ付着に関係なく内部充填され、骨材周囲の空隙部や鉄筋周囲に高密度に締め固まり接合される為、躯体の強度回復・増強効果を発揮します。

# IPH#600

● 性能データ

試験方法：JIS A 6916：2014 CM-2

試験項目		基準値	結果
軟度変化	(%)	-20 ~ 20	5
耐ひび割れ性		ひび割れない	ひび割れを認めない
耐衝撃性		ひび割れ及び剥がれがない	ひび割れ及び剥がれを認めない
曲げ強さ	N/mm <sup>2</sup>	5.0以上	7.4
圧縮強さ	N/mm <sup>2</sup>	10.0以上	26.9
付着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	標準養生	1.0以上	2.3
	低温養生	0.7以上	1.0
吸水量	(g)	2.0以下	1.4
透水量	(ml/h)	0.5以下	0.1
長さ変化	(%)	0 ~ -0.15	-0.03

試験方法：NEXCO 構造物施工管理要領（平成28年8月）断面修復の性能照査項目

試験項目		基準値	結果
硬化時間		1時間以上	7時間
外観（繰り返し試験後）		割れ、剥がれ、膨れのないこと	均一で、割れ、剥がれ、膨れを認めない
硬化収縮性		0.05%以下	0.03%
		反りかえりがないこと	硬化に伴う発熱により反りかえりを認めない
熱膨張係数（/℃）		$2.0 \times 10^{-5}$ 以下	$1.5 \times 10^{-5}$
付着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	湿潤時	1.5以上	1.9
	耐アルカリ性試験後	1.5以上	2.0
	温冷繰り返し後	1.5以上	2.0

### 注意事項

- 気温が5℃以下の場合は施工を避けてください。
- 強風及び降雨、降雪の場合またはそれらが予想される場合は施工を避けて下さい。
- 混和液は、直射日光及び0℃以下での保管は避けて下さい。
- 主材は、湿気や水掛かりに注意して保管して下さい。

### 梱包容量

IPH#600 22kgセット

● 主材 NET 20kg/袋入

● 混和液 NET 2kg/缶入

※ 1m<sup>3</sup>（1立米）当たりの所要量64セット

2019.01


**SGエンジニアリング株式会社**

TEL：(082)273-6954 FAX：(082)272-7276

〒733-0861 広島市西区草津東1丁目11-51

E-Mail：info@sge-k.com URL：http://www.sge-k.com/